

安全に関する改善提案

記入日: 2006 年 3 月 25 日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類
設計	コンクリート堤体工	はさまれ事故	作業環境要因	はさまれ

改善の概要: 監査廊の位置変更
 ・監査廊の鉄筋と上流側型枠の間が狭くコンクリート打設時、コンクリートバケットとのはさまれ事故が想定される為、作業場所を広くする。

メリット:
 作業場所が広くなり作業員の自由度が増す。

デメリット:
 堤体構造上の検討が必要

改善前 (略図または写真)

・監査廊が上流側型枠から4m程度のとき鉄筋、ダムフォームのダミーボルト等によりさらに作業場所が狭められ実質3m程度しかなくなる。又コンクリート配合切り替えの多い場所であり、バケットの微妙な位置変更が必要とされる。
 したがって、事故の危険性が高くなる。

改善後 (略図または写真)

・上流側型枠から5m程度離れることにより作業員の自由度が増す。